

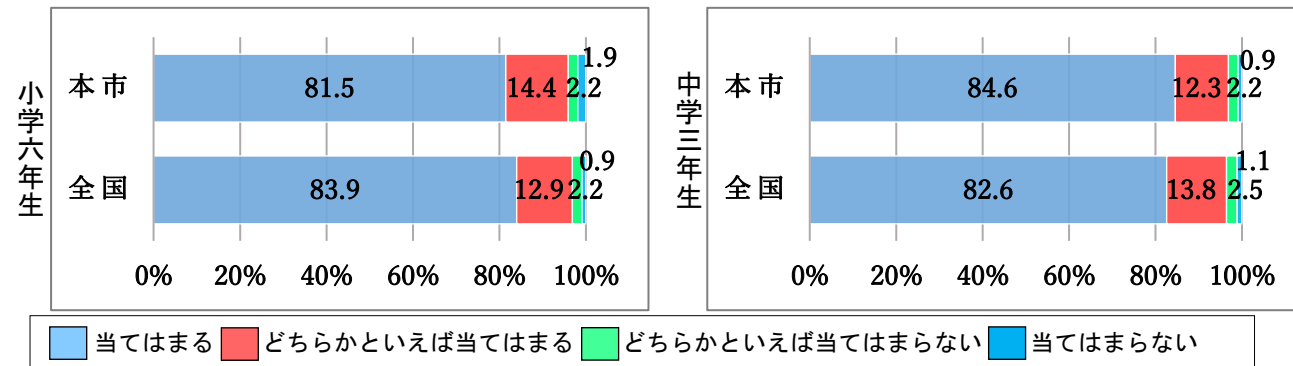
いじめについて

いじめは、ぜったいにゆるさない。いじめのない学校を目指して！

学校では、いじめアンケートや相談活動等を実施し、きめ細やかな実態把握と迅速な対応ができるよう努力しています。また、いじめの根絶に向け、道徳や学級活動等の学習を通じて取り組んでいます。

いじめの未然防止、早期発見・早期対応のためには、ご家庭の協力が不可欠です。日頃から子どもとのコミュニケーションを大切にいただき、悩み事等があれば相談できる環境づくりに、今後ご協力をお願いします。家庭と学校が連携し、いじめから子どもたちを守りましょう。

◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



ひとりで悩まないで！ 悩みを話してみませんか。

学校に行きづらい、いじめられているかもしれないなどの悩みや不安について、一緒に解決の方向を探っていきましょう。

いじめ、ネットいじめ

- ・子供 SOS ダイアル（文部科学省）
0120-0-78310（24 時間対応）
- ・ネットいじめ通報サイト（京都府教育委員会）
＜パソコン・携帯電話・スマホから＞
http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?page_id=118/



不登校

- ・木津川市適応指導教室（ふれあい教室）
＜電話相談＞0774-72-2811（1300-1700）
- ・きょうと不登校相談ダイヤル
075-585-7588（毎週1・第3・第5金曜日 1000-16:30）

体罰（たいばつ）

- ・体罰専用電話（京都府教育委員会）
075-612-5013（毎週水曜日 1130-1830）

いろいろな悩みごと

- ・京都いのちの電話
075-864-4343（24 時間対応）
- ・少年サポートセンター＜ヤングテレホン＞
075-551-7500（24 時間対応）
- ・京都府総合教育センター（24 時間対応）
＜ふれあい・すこやかテレホン＞
075-612-3268 または 3301
＜メール相談＞
<http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/m/soudan.htm>



スクール・カウンセラー

- ・巡回相談（各小中学校）
学校の先生に、相談日と時間の予約をしてください。
- ・市カウンセリングルーム（中央図書館2階）
＜電話相談＞（木・金曜日 14:30-15:30）
0774-72-2650
＜面接相談＞（木・金曜日 9:30-17:30）
予約：0774-75-1230（月～金曜日：学校教育課）

ヤングケアラー

- ・京都府ヤングケアラー総合支援センター
＜電話相談＞075-662-2840（1000-1800）

問い合わせ先 木津川市教育委員会 学校教育課 0774-75-1230(月～金曜日 8:30-17:15)
〒 619-0286 京都府木津川市木津南垣外 110 番地 9
TEL 0774-75-1230（直通） FAX 0774-73-2566

生きる力をはぐくみ 新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して

令和4年度 木津川市教育委員会

子どもたちの健やかな成長を目指し、保護者・地域の皆様とともに

～ 令和4年度全国学力・学習状況調査結果から ～

木津川市の小・中学校では、子どもたちが未来の社会を自立し、豊かに生きていく基盤をはぐくむため、全ての子どもたちに質の高い学力を身に付けさせるとともに、一人ひとりの能力、個性を最大限に伸ばす教育の推進に努めています。

子どもたちの健やかな成長のためには、子どもたちの現在の実態を直視し、学校・家庭・地域社会が連携し、社会総がかりで子どもを守り育てることが大切です。

令和4年4月18日に実施された令和4年度全国学力・学習状況調査結果をもとに、木津川市の子どもたちの学力と生活実態の状況についてお知らせし、保護者や地域の皆様のご理解とご支援をお願いする次第です。

調査の概要

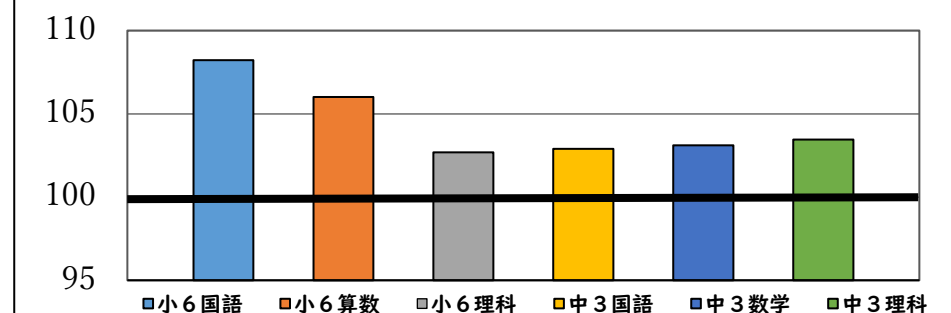
- (1) 目的 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。小学校6年生、中学校3年生（原則として全児童生徒対象）
- (2) 方法 小学校：国語(40分)、算数(40分)、理科(40分)、児童質問紙
中学校：国語(45分)、数学(45分)、理科(45分)、生徒質問紙
- (3) 内容 令和元年度よりA問題とB問題の区別を無くして実施
児童生徒質問紙：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

学力の状況について

全ての教科で、全国平均を上回っています。

本市の児童生徒の平均正答率は、全ての教科において全国平均を上回っています。今後とも、個々の児童生徒に視点をあて、より質の高い学力を身に付けさせるため、さらなる「知識」の定着と、「活用能力」の育成を目指していきます。

なお、グラフは全国平均を100とし、標準化した数値を表しています。



家庭生活の状況について

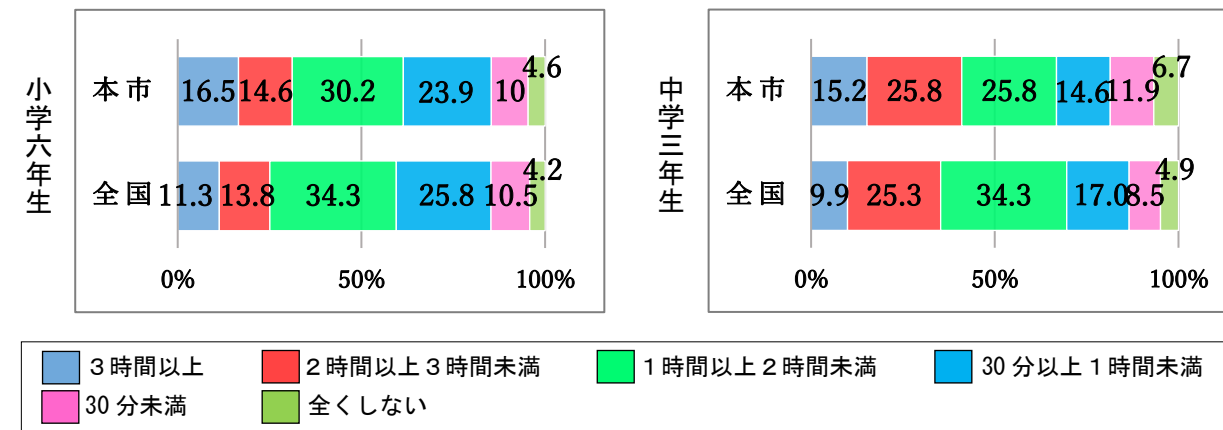
家庭でのよりよい生活・学習習慣のさらなる定着を目指して！

＜本市の児童生徒の主な特徴＞

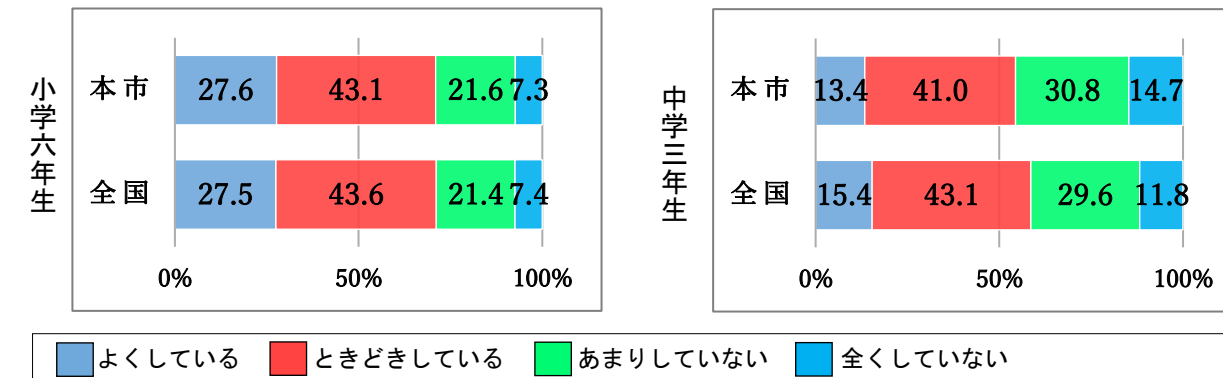
- ・学校以外での学習時間の長い児童生徒が多い。一方で、家庭等で計画的に学習が出来ていない児童生徒も少なくない。
- ・「自分によりよいところがある」と肯定的に感じている児童生徒が８割程度いる。（特に小学生に多い）
- ・SNS や動画視聴を長時間利用している児童生徒が多く、３時間以上利用している場合、学習効果への悪影響が大きくなる傾向がある。

よりよい生活習慣・学習習慣を身に付けるため、今後も学校と家庭が連携を深めていきましょう。

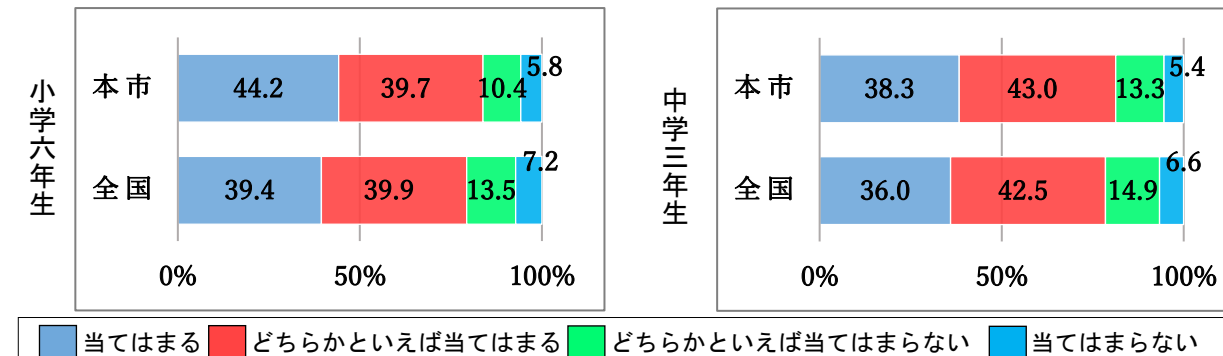
◎ 学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



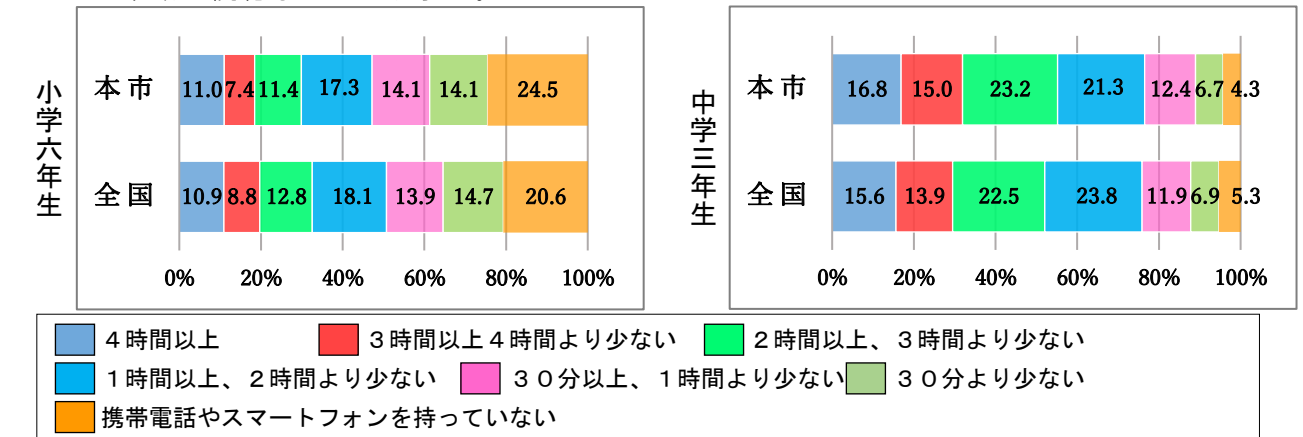
◎ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



◎ 自分には、よいところがあると思いますか。



◎ 普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。



一人一台タブレット型パソコンを活用して、「個別最適な学び」「協働的な学び」の推進に努めています。

- インターネットで収集した情報をまとめたり、発表したりする。
- 子ども達の考えや思いをデータとして先生に提出し、クラス全体で共有する。
- デジタルドリルの問題を解くことで基礎基本の定着を図る。
- ビデオ会議で会話やデータのやりとりをする。
- インターネット上にアンケートを作成したり、回答したりする。 など

これからの義務教育9年間を見据えた学校づくり ～木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会～

本市においては、今後、児童生徒数が減少し小規模校が増加していくと見込まれる中、義務教育9年間を見通した、中長期的な展望に立った今後の市立小中学校の在り方について令和3年度から2か年をかけて「木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会」で検討しています。

児童生徒一人ひとりの自己の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するとともに、持続可能な社会の創り手として必要な資質能力を育むための良好な学習環境や、円滑な学校運営を行える教育環境を整えるため、中長期的な展望に立って今後の市立小中学校の在り方について示し、基本計画として策定する予定です。